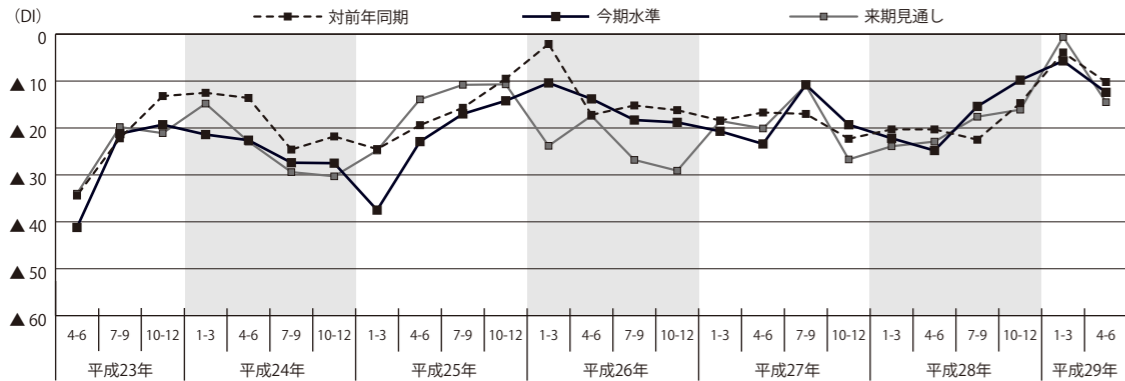


# 鶴岡商工会議所 景況調査

平成29年4～6月期

\* 調査対象: 会員事業所270社 \* 回答数: 179社(回答率66.3%)

## ● 業況DI(全業種)

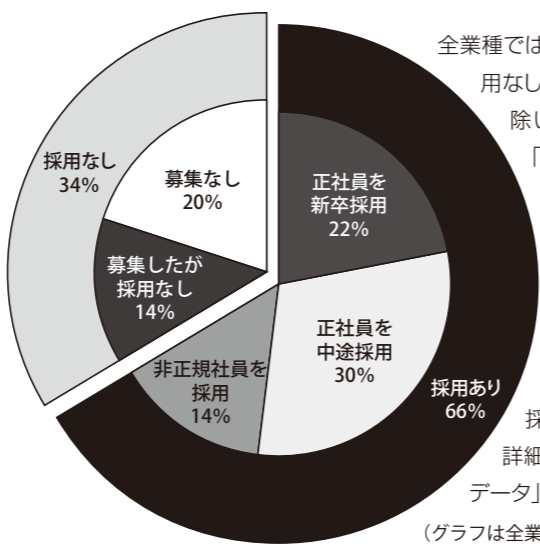


・今期(平成29年4-6月)水準では、前回調査(1-3月)に比べ、6.7ポイント悪化し、▲12.4となった。  
・対前年同期(平成28年4-6月)、来期(平成29年7-9月)見通し、共に悪化傾向となった。

## ● 経営上の問題点

- **建設業**.....  
従業員・熟練技術者の確保難が挙げられ、人材確保は引き続き深刻な状況。官公需要の停滞等の声あり。
- **製造業**.....  
従業員の確保難、生産設備の不足・老朽化が突出。採用の内定辞退など、従業員の確保難が挙げられた他、ここ数年で最も景気が悪いように感じるとの声も。
- **卸売業**.....  
販売単価の低下・上昇難が突出し、次いで、仕入れ単価の上昇、需要の停滞が続いている。
- **小売業**.....  
需要の停滞が突出し、次いで、消費者ニーズへの変化への対応、従業員の確保難が続く。人口の減少・若年層の県外流出の影響で販売数が減少し苦戦しているとの声あり。
- **サービス業**.....  
従業員の確保難が突出し、次いで利用者ニーズの変化への対応、人件費以外の経費の増加が続く。過去に経験したことが無いほどの採用難との声あり。

## 付帯調査 平成29年度採用状況



全業種では、「採用あり」が66%、「採用なし」が34%となり、卸売業を除いた業種で「採用あり」が「採用なし」を上回った。  
全業種の内訳は、「正社員を中途採用」が30%、「正社員を新卒採用」が22%、「募集なし」が20%、「非正規社員を採用」が14%、「募集したが採用なし」が14%となった。  
詳細は、当所HP内「各種統計データ」をご覧ください。  
(グラフは全業種のデータです)

## ● 山形県・鶴岡市のデータ

■ 鶴岡市 / 平成29年9月末現在・人口128,827人・世帯数48,749世帯 ※資料: 鶴岡市住民基本台帳人口・世帯数

■ 山形県内消費者物価指数(平成27年=100) ※資料: 山形県企画振興部統計企画課

	平成29年6月		平成29年7月		平成29年8月	
	指数	前年同月比(%)	指数	前年同月比(%)	指数	前年同月比(%)
食料	103.3	2.5	101.7	0.8	102.8	2.3
住居	100.4	▲0.2	100.4	▲0.2	100.2	▲0.4
光熱・水道	97.2	4.5	97.2	5.0	97.4	5.9
家具・家事用品	98.4	1.1	98.6	2.5	96.0	▲0.8
被服及び履物	104.4	0.9	103.9	0.9	99.0	▲0.3
保健医療	99.3	▲1.4	99.6	▲0.4	101.9	2.1
交通・通信	97.3	▲0.5	97.7	0.0	97.4	0.1
教育	102.3	0.6	102.3	0.6	102.3	0.6
教養娯楽	101.1	▲0.1	100.7	0.2	102.4	0.4
諸雑費	101.5	0.3	101.6	0.4	101.9	0.7
総合	100.6	0.9	100.2	0.7	100.5	1.2

■ 新設住宅着工戸数 ※資料: 鶴岡市経済動向2017.10

	着工戸数	前年	
		同月比(%)	累計比(%)
H29.6	鶴岡市	33	▲48.4 ▲14.2
	山形県	647	19.6 10.6
H29.7	鶴岡市	46	▲31.3 ▲20.3
	山形県	528	▲18.5 1.5
H29.8	鶴岡市	85	193.1 8.3
	山形県	561	14.3 3.9

## \*\*\* 鶴岡市経済動向 \*\*\*

鶴岡市の経済に関する資料をまとめて「鶴岡市経済動向」として公開しています。地域経済の動きを知るための一資料としてご利用ください。※右記QRコードからダウンロードしてください。



# 庄内における 高速交通基盤整備と 地域活性化を 考えるシンポジウム



講師 東日本旅客鉄道株式会社 営業部次長 内山尚志氏



講師 国土交通省 観光庁次長 水嶋 智氏

9/23(土) 東京第一ホテル鶴岡

東日本旅客鉄道株式会社 営業部次長は、「TRAIN SUITE」のお話をいただきました。

日本の観光政策を統括するお立場にある水嶋次長は、「これからの観光政策について」と題して講演いただきました。「日本政府は、現在2400万人の外国人旅行者を2020年に4000万人、2030年に6000万人に増やす計画で、外国人旅行者消費額を現在の4兆円から2030年には15兆円に増やし、観光立国をめざしている。また、山形県は県別の外国人宿泊数では下から7番目と低位であるが、素晴らしい観光資源を多数有しており、今後の伸び代に大いに期待したい」とのお話をいただきました。

新幹線や飛行機、高速道路などの高速交通網整備の遅れが、庄内地方の地域間競争力の低下に繋がっていると懸念される中、鶴岡商工会議所では、高速交通基盤を活用した地域活性化の在り方を考えるためのシンポジウムを開催しました。3回目となるシンポジウムには講師として、観光庁次長の水嶋智氏、東日本旅客鉄道株式会社営業部次長の内山尚志氏をお招きし、会員や行政機関、建設関係者、金融・経済団体等、庄内地域内外から約400名のご参加をいただき開催されました。



また、2019年秋には新潟・庄内のデスティネーションキャンペーンを展開する。地域の魅力を発信・発信しながら地域の皆さんと共に「観光による地域振興」を目指しており、TRAIN SUITE四季島やDC

SUITE四季島と庄内の観光振興」と題して講演。「今年5月に運行開始したTRAIN SUITE四季島は鶴岡駅とあつみ温泉駅に停車し地元の皆さんに温かいおもてなしを受け、これまでにない感動をいただいている。新潟駅では新幹線と特急いなほの同一ホーム乗換のための工事を進めており、利便性の向上を目指している。

# 第19回 日本海沿岸東北 自動車道 建設促進フォーラム

9/1(金) 秋田市

日本海国土軸の根幹をなす日沿道は、沿線の産業経済活性化はもとより、救急医療施設への搬送時間の短縮や災害時における代替路としての機能等、「いのちの道」として極めて重要な路線です。平成11年に鶴岡市において第1回目を開催し、これまで、大館市、能代市、秋田市、酒田市、新潟市の各都市にて、関係団体が一

を通して、観光流動創造に取り組み」とのお考えを説明いただきました。お二人の講演の後、地元からオリエンタルモーター株式会社、鈴木木広美氏が交通インフラ整備についてのビジネスユーザーとしての意見、第27回赤川花火大会実行委員長、佐藤友介氏が、交通イン

体となり、日沿道の早期完成への気運を盛り上げていくことを目的に開催しております。今回の記念講演は、クルーズライター・クルーズジャーナリスト上田寿美子氏より「海の大通りを走る! クルーズへの招待状」、また、山形県代表として株式会社庄交コーポレーション常務取締役の大川光二氏より意見発表がありました。



第20回目となる来年は、鶴岡市において開催される予定です。

フラ整備と地域イベントの運営について、それぞれ発表していただきました。その後、庄内開発協議会の市町長が水嶋次長に「庄内地域のインバウンド観光推進のための支援について」の要望書を届けました。